

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和6年6月19日(2024.6.19)

【国際公開番号】WO2023/188084

【出願番号】特願2024-510869(P2024-510869)

【国際特許分類】

F 24 F 1/0025(2019.01)

F 24 F 1/0007(2019.01)

F 24 F 13/22(2006.01)

10

【F I】

F 24 F 1/0025

F 24 F 1/0007321

F 24 F 1/0007361A

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月27日(2024.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

空気調和機の室内機であって、

熱交換器と、

回転軸周りを回転するクロスフローファンと、

吸込口、および吹出口を有し前記熱交換器および前記クロスフローファンを内部に収容する筐体と、

前記クロスフローファンの吸込流路と吹出流路とを分離するスタビライザと、を備え、

前記スタビライザは、

30

前記クロスフローファンの外周面に沿って延び前記クロスフローファンに対向する対向面が設けられる舌部と、

前記対向面から前記クロスフローファン側に突出する第1突起部と、

前記対向面から前記クロスフローファン側に突出し前記第1突起部よりも前記吹出流路側に位置する第2突起部と、を有し、

前記第1突起部は、前記吹出流路側を向き、先端側に向かうに従い前記吸込流路側に傾斜する第1整流面を有し、

前記第2突起部は、前記吹出流路側を向き、先端側に向かうに従い前記吸込流路側に傾斜する第2整流面を有し、

前記回転軸の径方向に対し、前記第1整流面、および前記第2整流面は、それぞれ鋭角の傾斜角度で吸込流路側に傾斜する、

40

室内機。

【請求項2】

前記第1突起部と前記クロスフローファンとの間の第1隙間は、前記第2突起部と前記クロスフローファンとの間の第2隙間より小さい、

請求項1に記載の室内機。

【請求項3】

前記第1隙間と前記第2隙間との差分は、前記クロスフローファンの直径の0.5%以上である、

50

請求項 2 に記載の室内機。

【請求項 4】

前記クロスフローファンの軸方向から見て、

前記回転軸と前記第1突起部の先端とを結ぶ仮想線を第1仮想線とし、

前記回転軸と前記第2突起部の先端とを結ぶ仮想線を第2仮想線とし、

前記回転軸と前記舌部の前記吹出流路側の端部とを結ぶ仮想線を第3仮想線とし、

前記第1仮想線と前記第3仮想線とのなす角度に対する前記第1仮想線と前記第2仮想線のなす角度の比率は、50%より大きい。

請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載の室内機。

【請求項 5】

前記第1整流面は、

第1傾斜部と、

前記第1傾斜部よりも前記第1突起部の先端側に位置する第2傾斜部と、を有し、

前記径方向に対する前記第2傾斜部の傾斜角度は、前記径方向に対する前記第1傾斜部の傾斜角度より大きい、

請求項 4 に記載の室内機。

【請求項 6】

前記舌部、および前記第1突起部は、板状であり、

前記スタビライザは、前記舌部と前記第1突起部 3 1 とに囲まれ上側に開口する凹部を有する、

請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の室内機。

【請求項 7】

前記第2突起部は、吹出流路 F 2 側を向く平坦な整流面と、前記吸込流路側を向く平坦な反対側面と、の2つの面から構成される、

請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載の室内機。

【請求項 8】

前記第1突起部、および前記第2突起部は、前記クロスフローファンの軸方向の全長に亘って延びる、

請求項 1 ~ 7 の何れか一項に記載の室内機。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の室内機と、

室外機と、

を備える、空気調和機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本開示に係る室内機の一つの態様は、空気調和機の室内機であって、熱交換器と、クロスフローファンと、吸込口、および吹出口を有し前記熱交換器および前記クロスフローファンを内部に収容する筐体と、前記クロスフローファンの吸込流路と吹出流路とを分離するスタビライザと、を備え、前記スタビライザは、前記クロスフローファンの外周に沿って延び前記クロスフローファンに対向する対向面が設けられる舌部と、前記対向面から前記クロスフローファン側に突出する第1突起部と、前記対向面から前記クロスフローファン側に突出し前記第1突起部もより前記吹出流路側に位置する第2突起部と、を有し、前記第1突起部は、前記吹出流路側を向き、先端側に向かうに従い前記吸込流路側に傾斜する第1整流面を有し、前記第2突起部は、前記吹出流路側を向き、先端側に向かうに従い前記吸込流路側に傾斜する第2整流面を有し、前記回転軸の径方向に対し、前記第1整流面、および前記第2整流面は、それぞれ鋭角の傾斜角度で吸込流路側に傾斜する。

10

20

30

40

50